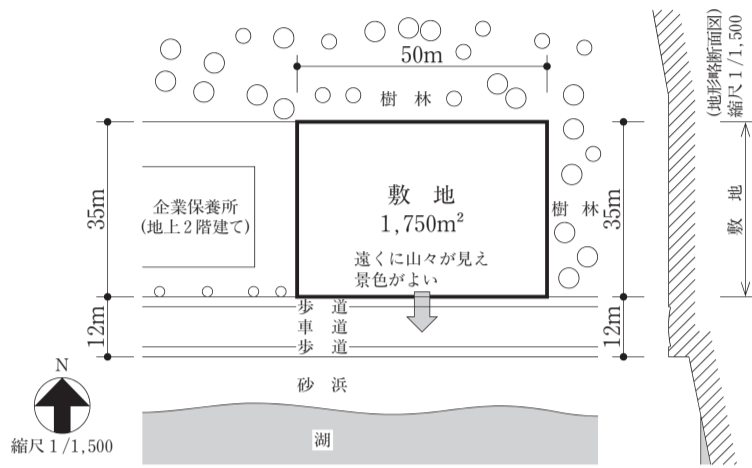


I. 設計条件

この課題は、都市近郊の湖畔に建つ美術系の大学のセミナーハウスを計画するものである。本施設は、教員や講師を囲んでの実習や討論を通じてコミュニケーションを図る場であるとともに、豊かな自然を満喫することで心身をリフレッシュする場でもある。また、地域住民との交流の場となるように発表会、講演会、ワークショップ等ができる計画とする。

1. 敷地及び周辺条件

- 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。
- 敷地は、平坦で、道路及び隣地との高低差はないものとする。また、歩道の切り開きは、1箇所当たり6mまでできるものとする。
- 敷地は、都市計画区域及び準都市計画区域以外の区域内にあるが、景観保全のため建築物に関して次の制限がある。
 - 建ぺい率の限度は60%、容積率の限度は200%である。
 - 主要な屋根は、 $\frac{2}{10}$ 以上の勾配屋根とする。
- 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
- 地盤は良好であり、杭打ちの必要はない。
- 湖の氾濫、地下水及び積雪についての特別な配慮はしなくてよい。



2. 建築物

- 構造、階数等
構造種別は自由とし、地上2階建ての1棟の建築物とする。
- 床面積の合計
床面積の合計は、1,500m²以上、1,800m²以下とする。
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段等は、床面積に算入しないものとする。
- 要求室
下表の室は、すべて計画する。

部門	室名	特記事項	床面積
・セミナー室A・B・C、アトリエ、和室、エントランスホール及び食堂については、地域住民との交流の場となるように配慮する。			
研修部門	セミナー室A	・教室型とし、50人程度が利用できるようにする。 ・プレゼンテーション、講演会、各種発表会等に利用する。	適宜
	セミナー室B	・15人程度が利用できるようにする。	
	セミナー室C	・2室に分割して、それぞれ8人程度が利用できるようにする。	
	アトリエ	・無柱空間とし、天井の平均の高さは5m以上、開口及び奥行きは心々10m以上とする。 ・収納棚、流し等を設ける。	約150m ²
	アトリエ準備室		約30m ²
宿泊部門	和室	・10畳とし、床の間及び押入れを設ける。	適宜
	宿泊室A (洋室・4人室)	・6室計画する。 ・バルコニーを設ける。 ・シングルベッド及び談話コーナー(テーブル、椅子等)を設ける。 ・洗面台及び便所を設ける。	適宜
	宿泊室B (和室・12畳)	・2室計画する。 ・バルコニーを設ける。 ・洗面台、便所及び押入れを設ける。	
	宿泊室C (洋室・個室)	・2室計画し、教員及び講師用とする。 ・バルコニーを設ける。 ・シングルベッド、テーブル及び椅子を設ける。 ・バス、洗面台及び便所を設ける。	
	談話スペース	・10人程度が利用できるようにする。 ・本棚、ソファ等を設ける。	
	浴室	・男性用、女性用として、それぞれ5人程度が入浴できるものとし、各浴室に脱衣室を設ける。 ・眺望に配慮する。	
リネン室			
共用・管理部門	エントランスホール	・1階と2階の空間の連続性を考慮した吹抜けを計画する。 ・周囲の自然景観を取り入れ、明るく開放的な空間とし、コミュニケーションの場やラウンジとしても利用する。 ・学生が制作した美術作品等の展示を行う。 ・風除室を設ける。	適宜
	食堂	・30人程度が利用できるようにする。 ・明るく開放的な空間とし、屋外テラスと一体的に利用できるようにする。 ・厨房を設ける。 ・テーブル、椅子等を設ける。	
	事務室	・2人分の事務スペースを確保する。 ・受付カウンターを設ける。	
	設備スペース	・採用した設備計画に応じて、設備機械室(空調、給排水、電気、消火等)、屋外機器置場等を計画する。	
・便所及び倉庫については、適切に計画する。 ・その他必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。			

3. その他の施設等

- 屋外テラス(食事やパーティ等多目的に利用する。)を、次のとおり計画する。
 - 地上又は1階の屋上に設けるものとし、まとまったスペースで80m²(ピロティ、上部に屋根等がある部分を含めてもよい。)を確保する。
 - 食堂と一体的に利用できるようにする。
 - テーブル、椅子等を設ける。
- 駐車場は、地上に平面駐車とし、車いす使用者用として1台分、サービス用として1台分を設ける。なお、施設利用者用及び職員用の駐車場は、近隣の駐車場を利用するものとし、考慮しなくてよい。
- 駐輪場は、施設利用者用として10台分を設ける。
- (1)~(3)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

4. 計画に当たっての留意事項

- 建築計画については、次の点に留意して計画する。
 - 建築物はバリアフリー、セキュリティ等に配慮する。
 - 研修部門、宿泊部門及び共用・管理部門を適切にゾーニングし、明快な動線計画とするとともに、避難等に配慮する。
 - 勾配屋根の形状を活かした室内空間となるように計画する。
 - 敷地の周辺環境に配慮する。
- 構造計画については、次の点に留意して計画する。
 - 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに、経済性にも配慮する。
 - 構造種別、架構形式及びスパン割りを適切に計画する。
 - 耐震性に配慮し、必要に応じて、耐力壁等を設ける。
 - 部材の断面寸法を適切に計画する。
- 設備計画については、次の点に留意して計画する。
 - 空調設備、給排水衛生設備、電気設備、消火設備等を適切に設け、環境負荷低減に配慮する。
 - 自然採光及び自然通風を積極的に取り入れる計画とするとともに、日射の遮蔽にも配慮する。
 - エレベーターを適切に設ける。

II. 要求図書

答案用紙I及び答案用紙IIの定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

1. 要求図面(答案用紙Iに記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい。)、必要な事項を記入する。

図面及び縮尺	特記事項
(1) 1階平面図兼配置図 1/200	① 1階平面図兼配置図及び2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の主要寸法(柱割り)及び床面積の計算に必要な程度) ロ. 室名等(宿泊室A、B及びCの表示は、リ、ヌ、ルによる。) ハ. 要求室の床面積 ニ. 採用した構造種別、架構形式及びスパン割りに応じて必要となる構造要素(必要により、凡例の空欄に名称・記号を記入し、図示する。) ホ. 設備シャフト[パイプシャフト(PS)、ダクトスペース(DS)、電気シャフト(EPS)]の位置 ヘ. 設備計画に応じた設備スペース ト. 断面図の切断位置 チ. 屋外テラス リ. 宿泊室A(洋室・4人室)の室名(A1、A2、A3、A4、A5、A6と表示する。) ヌ. 宿泊室B(和室・12畳)の室名(B1、B2と表示する。) ル. 宿泊室C(洋室・個室)の室名(C1、C2と表示する。) ヲ. 代表的な宿泊室A、宿泊室B及び宿泊室Cの室内プラン ワ. 要求室(宿泊室を除く。)の特記事項に記載されている什器等
(2) 2階平面図 1/200	② 1階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の出入口 ロ. 駐車場及び駐輪場(台数を明示する。) ハ. 通路、植栽等 ③ 2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 居室の最も遠い位置から直通階段の一に至る歩行距離及び経路 ロ. 1階の屋根、ひさし等となる部分
(3) 断面図 1/200	① 切断位置は、エントランスホールを含み、建築物の全体の立体構成及び勾配屋根の形状がわかる断面とする。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1階床高及び主要な室名を記入する。 ③ 基礎、梁及びスラブの断面を図示する。
(4) 2階梁伏図 1/200	① 2階からの見下げ図とし、主要な柱、大梁、小梁及びスラブは構造部材表の符号を明示する。 ② 構造部材表に主要な柱、大梁、小梁及びスラブの断面寸法を記入し、主要な部材が複数となる場合は空欄に符号・部材・断面寸法を追加記入する。

2. 面積表(答案用紙Iに記入)

地上1、2階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。

3. 計画の要点等(答案用紙IIに記入)

- 建築計画について、次の①~③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - 研修部門の各室について、その位置とした理由及び動線計画において工夫したこと
 - エントランスホールの計画について工夫したこと
 - 勾配屋根の形状を活かした室内空間とするために工夫したこと
- 構造計画について、次の①及び②の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - 建築物に採用した構造種別、架構形式及びスパン割りとこれらを採用した理由
 - 勾配屋根の構造計画について工夫したこと
- 設備計画について、次の①~③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - アトリエにおいて、採用した空調方式、空調機の設置位置及び良好な室内環境とするための吹出口・吸込口の計画について工夫したこと
 - 建築物の省エネルギーにおいて、自然採光の促進、日射遮蔽及び空調エネルギーの削減について工夫したこと
 - 受変電設備、空調室外機及び浴室用の給湯・ろ過設備の設置位置について工夫したこと

(注意) この問題用紙については、試験終了まで試験室に在室した者に限り、持ち帰りを認めず(中途退出者については、持ち帰りを禁止します)。

試験場	受験番号	氏名